

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編) R12目標値	指標の説明	
都市ビジョン1	将来の夢や目標を持っているこどもの割合	78.9% (令和4年度)	↑		【アンケート(担当課)】「あなたは、将来の夢や目標のため、今努力していますか?」という問いに、「努力している」、「夢や目標はあるが特に努力していない」と回答したこどもの割合	
	安心して子育てができるまちだと思う保護者の割合	89.6% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、小牧市は子育て家庭の支援や保育サービスが充実しているなど「安心して子育てができるまち」だと思いますか?」という問いに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した18歳以下の同居家族がいる市民の割合	
都市ビジョン2	生きがいを持って暮らしている65歳以上の市民の割合	79.5% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、生きがいをもって生活していますか?」という問いに、「はい」と回答した65歳以上の市民の割合	
	地域に貢献する活動をしている市民の割合	18.5% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、この1年間に地域に貢献する活動をしたことがありますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
都市ビジョン3	小牧市に愛着や誇りを感じている市民の割合	79.9% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、小牧市に愛着や誇りを感じますか?」という問いに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	
	名鉄小牧線沿線居住人口	88,975人 (令和4年度)	↑		名鉄小牧線沿線市街地の居住人口	
戦略1	重点事業1-1	こまきこども未来大学の受講者数	139人 (令和4年度)	190人	240人	毎年度実施するこども未来大学における講座受講者の延べ人数
		駒来塾の参加者数	74人 (令和4年度)	100人	120人	家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に開催している学習支援事業「駒来塾」(4地区)に参加した生徒数の合計
	重点事業1-2	子育て世代包括支援センターや各児童館(子育て支援室)での相談件数	7,976件 (令和4年度)	8,500件	9,000件	子育て世代包括支援センター、市内児童館(子育て支援室)で受けた相談件数の合計 【参考】相談件数の内訳 利用者支援事業(基本型)、利用者支援事業(母子保健型)、家庭児童相談、ひとり親相談、母乳相談、新生児訪問、子育て支援室相談(子包括)、児童館の支援室相談、妊娠届時相談、児童館巡回育児相談、1stアニバーサリー、すくすく子育て応援事業の妊娠8か月アンケート
		子育てについて相談できる人がいる保護者の割合	96.5% (令和4年度)	100%	100%	【アンケート(担当課)】4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診において、「相談相手がいる」と回答した保護者の割合
	重点事業1-3	タブレットを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	82.2% (令和4年度)	85.0%	87.0%	【アンケート(担当課)】「タブレットを使った授業は、わかりやすいですか?」という問いに、「はい」と回答した児童生徒の割合
		新たな学校づくり推進計画の策定	設定なし	策定	設定なし	学校施設の適正規模・適正配置やこどもたちにとってより望ましい教育環境の基本的な考え方を整理した計画の策定
戦略2	重点事業2-1	週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	53.6% (令和3年度)	65.0%	70.0%	【アンケート(市民)】「あなたは、週に1回以上適度な運動(ウォーキングや体操などの運動)をしていますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
		フレイルチェック測定会参加者数	119人 (令和4年度)	600人	1,100人	市が実施するフレイルチェック測定会に参加した人数
	重点事業2-2	生涯学習に関する講座の受講者数	5,884人 (令和4年度)	10,000人	12,000人	生涯学習に関する講座の受講者数
		ボランティア新規登録者数(累計)	0人 (令和4年度)	450人	680人	小牧市社会福祉協議会ボランティアセンターの新規登録団体における登録者数、ワクティブこまきボランティア情報配信LINE新規登録者数の累計
	重点事業2-3	こまきいきいきポイント還元者数	4,395人 (令和4年度)	5,300人	6,000人	年度ごとに健康いきいきポイント制度と支え合いいきいきポイント制度を利用し、取組に応じて貯まったポイントを市内限定商品券(プレミアム商品券)に還元した市民の数
		福祉分野の活動をしている地域協議会の割合	69.2% (令和4年度)	78.6%	86.7%	福祉分野の事業を実施した地域協議会の割合
市内限定商品券が使える店舗数		604店 (令和4年度)	現状維持	現状維持	こまきプレミアム商品券事業の加盟店舗の数	

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明	
戦略3	重点事業3-1	市政情報に関する動画の閲覧数(累計)	105万回 (令和4年度)	190万回	280万回	小牧市公式YouTubeに公開している動画の視聴回数の累計
		ふるさと納税の寄附者数	56,088人 (令和4年度)	74,000人	89,000人	ふるさと納税(こまき応援寄附金)の寄附者数
	重点事業3-2	中心市街地まちづくりプラットフォーム登録者数	96人 (令和4年度)	130人	210人	オンラインでのつながる場である「LINEオープンチャット」の登録者数
		中心市街地に立地している主な公共施設の来館者数	101万人 (令和4年度)	105万人	110万人	中央図書館とこまきこども未来館の来館者数の合計
		史跡小牧山を訪れた人の数	35万人 (令和4年)	38万人 (令和8年)	41万人 (令和12年)	あいち観光動態ウォッチャー(ビッグデータ)で抽出する史跡小牧山を訪れた年間延べ人数
	重点事業3-3	東部まちづくりプラットフォーム登録者数	75人 (令和4年度)	140人	180人	地域住民をはじめ、事業者、教育機関、行政など、東部地域に関係する人々がつながる場となるプラットフォームの登録者数
	重点事業3-4	企業新展開支援プログラムを通じた支援件数	919件 (令和4年度)	930件	940件	企業新展開支援プログラムに該当する補助制度の実績件数
		魅力あるふるさと納税返礼品の種類	378品 (令和4年度)	650品	930品	ふるさと納税(こまき応援寄附金)のお礼の品登録数
防災・減災	自然災害による死傷者数	0人 (令和4年度)	→		自然災害による死傷者数	
展開方向1	水や食料品などの災害用備蓄品を備蓄している市民の割合	54.3% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、水や食料など災害用備蓄品を備蓄していますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
	家具の転倒防止などの措置をしている市民の割合	40.0% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、地震に対する備えとして、家具の転倒防止などの措置をしていますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
	避難所を知っている市民の割合	76.0% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、災害時に自分が避難する避難所・避難場所を知っていますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
	市公式LINEで災害情報のセグメントを登録している市民の数	-	↑		市公式LINEで災害情報のセグメントを登録している市民の数	
展開方向2	防災訓練への参加者数	2,187人 (令和4年度)	↑		総合防災訓練、水防訓練などの参加者数	
	災害時外国人支援ボランティアが防災訓練に参加した学校数	6校 (令和4年度)	↑		小牧市災害時外国人支援ボランティアが防災訓練に参加した学校数	
	自主防災会活動支援補助金の活用団体数	94団体 (令和4年度)	↑		小牧市自主防災会活動支援補助金の活用団体数	
展開方向3	市職員向けの研修・訓練回数	7回 (令和4年度)	↑		災害に関する市職員向けの研修・訓練回数	
	災害時に備えた関係団体との研修回数	7回 (令和4年度)	↑		災害時に備えた関係団体との研修回数	

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明
交通安全・防犯	人身事故件数	541件 (令和4年)	↓		1年間(1月から12月)に起きた人身事故発生件数(死亡事故含む)
	刑法犯認知件数	874件 (令和4年)	↓		1年間(1月から12月)に起きた犯罪で、届出等により認知した刑法犯の件数
	消費生活センターで把握した消費者トラブルの件数	921件 (令和4年度)	↓		消費生活センターの相談受付件数
展開方向1	交通安全教育への参加者数	3,171人 (令和4年度)	↑		1講座当たり30分以上の出前講座などに参加した市民の数
	啓発活動などへの参加企業数	4社 (令和4年度)	↑		交通安全啓発活動に参加した企業の数(延べ数)
	交通安全対策事業への高齢者の参加者数	251人 (令和4年度)	↑		1講座あたり30分以上の出前講座などに参加した高齢者の参加者数
展開方向2	自転車に乗る時にヘルメットを着用している割合	7.1% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、自転車に乗るときにヘルメットを着用していますか?」という問いに、「はい」と回答した自転車保有者の割合
	空き巣、忍び込み防止対策をしている市民の割合	51.0% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたの自宅は、空き巣、忍び込み防止対策をしていますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
	自動車盗、部品ねらい、車上ねらいの防止対策をしている自動車の保有者の割合	39.0% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなた(同居の家族含む)は、自動車盗、部品ねらい、車上ねらいの防止対策をしていますか?」という問いに、「はい」と回答した自動車保有者の割合
	防犯カメラ設置数	749台 (令和4年度)	↑		市民安全課が管理する防犯カメラの数及び市から補助金を受けて設置された防犯カメラの数
展開方向3	防犯教育や防犯訓練への参加者数	313人 (令和4年度)	↑		1講座当たり30分以上の出前講座などに参加した市民の数
	消費生活センターを知っている市民の割合	58.5% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、市に消費生活センターという相談窓口があることを知っていますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
	高齢者の見守り支援関連団体への啓発実施回数	2回 (令和4年度)	↑		介護や福祉関係団体の会議における啓発活動の回数
	小中学校を中心とした若年層への啓発実施回数	-	↑		学校などで出前講座を実施した回数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明
消防・救急	建物火災による死者数 (放火自殺者を除く)(累計)	4人 (令和元～4年 の累計)	↓		市内における放火自殺者を除く建物火災による死者数の累計
	建物火災による負傷者数 (放火自殺者を除く)(累計)	27人 (令和元～4年 の累計)	↓		市内における放火自殺者を除く建物火災による負傷者数の累計
	建物火災の発生件数(累計)	84件 (令和元～4年 の累計)	↓		市内における建物火災の発生件数の累計
	救命率	5.1% (令和4年)	↑		救急搬送したすべての心肺停止傷病者のうち、1か月後に社会復帰したすべての傷病者の割合
展開方向1	住宅用火災警報器の 条例適合設置率	72.0% (令和4年度)	↑		一般家庭防火査察を実施した世帯のうち、条例に適合するよう住宅用火災警報器を設置している世帯の割合
	重大な消防法令違反の 特定防火対象物数	0棟 (令和4年度)	→		設置が必要となる屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備が設置されていない特定防火対象物の数
	耐震性防火水槽の割合	39.3% (令和4年度)	↑		市内に設置しているすべての防火水槽に対する耐震性の防火水槽の割合
展開方向2	救命講習及び救命入門コースの 受講者数	2,427人 (令和4年)	↑		救命講習及び救命入門コースの受講者数の合計
	心肺停止傷病者に対する市民の応急手 当実施率	64.6% (令和4年)	↑		救急搬送したすべての心肺停止傷病者のうち、救急の現場に居合わせた市民による応急手当(心肺蘇生)が実施された傷病者の割合
	救急車への救急救命士の搭乗率	100% (令和4年)	→		救急出動件数のうち、救急救命士が救急車に搭乗していた割合
	救急車の現場到着所要時間	8.3分 (令和4年)	↓		119番の受信開始から現場到着までの平均所要時間
展開方向3	消防団員の定員に対する充足率	100% (令和4年度)	→		消防団員数を消防団員の条例定数で除したもの
	消防団員が訓練に参加した延べ人数	2,439人 (令和4年度)	↑		消防団訓練会、救命講習、署団合同訓練をはじめ、様々な教育訓練に参加した消防団員の延べ人数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明
ごみ・資源・エネルギー	1人1日当たりのごみの排出量(家庭系ごみ)	439.2g (令和4年度)	↓		1人1日当たりの市内から排出される家庭系ごみのうち、燃やすごみ、破碎ごみ、粗大ごみの排出量
	事業系ごみの年間排出量	10,531t (令和4年度)	↓		事業系ごみの年間排出量
	市内温室効果ガス排出量	1,865千t-CO2 (令和2年度)	↓		市内の温室効果ガス排出量
展開方向1	ごみ分別アプリサービス(さんあ〜)の登録件数	5,486件 (令和4年度)	↑		ごみ分別アプリサービス(さんあ〜)の登録件数
	廃棄物適正処理指導員が対応した不適正排出の件数	707件 (令和4年度)	↓		ごみ集積場に排出された不適正ごみについて、市民からの通報及び廃棄物適正処理指導員が巡回中に発見し対応した件数
	特別収集の受付件数	907件 (令和4年度)	↓		特別収集の受付件数
	こまやか収集実施世帯数	358世帯 (令和4年度)	↑		こまやか収集実施世帯数
展開方向2	再資源化率	36.6% (令和3年度)	↑		ごみの総排出量に対する資源化量の割合
	再資源化施設で処理された事業系ごみの量	4,283t (令和4年度)	↑		再資源化施設で処理された事業系ごみの量
展開方向3	地球温暖化対策設備の設置補助件数(累計)	854件 (令和4年度)	↑		市内の住宅に導入した地球温暖化対策設備に対する設置費補助件数の累計
	事業者に対する省エネルギーの支援件数(累計)	9件 (令和4年度)	↑		省エネルギー設備等導入補助金件数の累計
	公共施設のエネルギー消費量(原油換算)	12,054kl (令和3年度)	↓		公共施設の原油換算後のエネルギー消費量
	太陽光発電設備導入施設数	49施設 (令和4年度末)	↑		公共施設への太陽光発電設備の導入施設数
展開方向4	小中学生の環境にやさしい生活の達成基準(エコライフチェックシート)	71.9% (令和4年度)	↑		エコライフチェックシート全14項目の達成率
	日頃から省エネルギーを意識した行動を実践している市民の割合	69.9% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、日頃から省エネルギーを意識した取組を行っていますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明
自然・生活環境	大気汚染に係る環境基準達成項目数 (全4項目)	3項目 (令和3年度)	↑		市内一般環境測定局における大気汚染物質4項目の環境基準達成率
	水質汚濁に係る環境基準達成項目数 (全5項目)	4項目 (令和3年度)	↑		市内環境基準点における健康項目、生活環境項目(合計5項目)の環境基準達成率
	公害苦情発生件数	179件 (令和4年度)	↓		市内における1年間の公害に対する苦情発生件数
	回収した不法投棄のごみの量	24t (令和4年度)	↓		公共用地等に不法投棄された投棄物を、ごみ政策課が小牧岩倉エコルセンターに搬入した量
展開方向1	自然環境学習(水生生物調査など)の 実施回数	7回 (令和4年度)	↑		市内における1年間の自然環境学習の実施回数
	特定外来生物の駆除活動実施回数	3回 (令和4年度)	↑		市内における1年間の特定外来生物駆除活動の実施回数
展開方向2	環境保全協定締結事業所数(累計)	26件 (令和4年度)	↑		環境保全協定を締結している事業所数の累計
	合併処理浄化槽への転換補助基数	9基 (令和4年度)	↑		小牧市公共下水道事業計画区域及び小牧市農業集落排水事業区域を除く市内における既存の単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換に対する補助基数
展開方向3	アダプトプログラム活動者数	15,186人 (令和4年度)	↑		アダプトプログラムの年間活動者数
	クリーンアップ事業活動者数	43,430人 (令和4年度)	↑		こまきクリーンアップ活動、地区大掃除、ごみ散乱防止市民行動の日の年間活動者数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編) R12目標値	指標の説明
健康・予防	健康寿命(男性)	80.34年 (令和元年)	↑		健康寿命を介護保険の要介護度のデータを活用して算出 年齢階級別人口・死亡数・要介護2～5の認定者数を用いて算出 (健康寿命の算定方法の指針に基づき市町村で算定可能な方法で算出)
	健康寿命(女性)	84.19年 (令和元年)	↑		健康寿命を介護保険の要介護度のデータを活用して算出 年齢階級別人口・死亡数・要介護2～5の認定者数を用いて算出 (健康寿命の算定方法の指針に基づき市町村で算定可能な方法で算出)
展開方向1	ウォーキングアプリ「alko」の ダウンロード件数	21,261件 (令和4年度)	↑		ウォーキングアプリ「alko」のダウンロード件数
	健康いきいきポイントの利用者数	478人 (令和4年度)	↑		(大人版・子ども版)健康いきいきポイント制度を利用した人数
	健康経営に取り組んでいる企業数	227社 (令和4年度)	↑		健康経営・健康づくりに取り組む協会けんぽにおける「小牧市健康づくりチャレンジ宣言 事業所」の数
	毎日、朝食を食べている児童の割合	82.0% (令和4年度)	↑		【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】で「朝食は毎日食べますか?」という問いに、 「毎日食べる」回答した小学生の割合
	毎日、朝食を食べている生徒の割合	73.2% (令和4年度)	↑		【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】で「朝食は毎日食べますか?」という問いに、 「毎日食べる」回答した中学生の割合
	サロンなど地域におけるフレイル予防事業 参加者数	597人 (令和4年度)	↑		サロンなど地域におけるフレイル予防事業(出前講座、運動、栄養、口腔ケアなどの相 談事業)に参加した市民の数
展開方向2	健康状態不明者数(健診・医療未受診者 数)	1,232人 (令和4年度)	↓		市が所有する健診・医療・介護に係るデータ上で、健康状態が不明な市民の数
	アクティブシニアの総合相談窓口の 相談件数	40件 (令和4年度)	↑		「アクティブシニアの総合相談窓口」への相談件数
	こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」 を拠点とした取組への参加者数	391人 (令和4年度)	↑		こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」において実施した事業への参加した市民の数
展開方向3	総合相談窓口を通じた関係機関、団体へ のマッチング数	-	↑		総合相談窓口に寄せられた相談を踏まえ、関係機関や団体につないだ相談の件数
	胃がん検診受診率	7.7% (令和4年度)	↑		市が実施する胃がん検診(集団・個別)受診者数(胃部X線検査40歳未満及び胃内視鏡 検査50歳未満を除く)／人口(40歳未満を除く)
展開方向4	大腸がん検診受診率	11.8% (令和4年度)	↑		市が実施する大腸がん検診(集団・個別)受診者数(40歳未満を除く)／人口(40歳未満 を除く)
	肺がん検診受診率	12.7% (令和4年度)	↑		市が実施する肺がん検診(集団・個別)受診者数(40歳未満を除く)／人口(40歳未満を 除く)
	乳がん検診受診率	4.2% (令和4年度)	↑		市が実施する乳がん(マンモグラフィ)検診(集団・個別)受診者数(40歳未満を除く)／女 性人口(40歳未満を除く)
	子宮頸がん検診受診率	5.3% (令和4年度)	↑		市が実施する子宮頸がん検診(集団・個別)受診者数(20歳未満を除く)／女性人口(20 歳未満を除く) ※妊婦健診における子宮頸がん検診受診者数を含む
	健康づくり出前講座の受講者数	590人 (令和4年度)	↑		市内で活動する各団体からの申込みにより市内会館等で実施する各種健康づくり講座 の総参加者数
	いきいき世代個別歯科健診受診率	9.4% (令和4年度)	↑		市が実施するいきいき世代個別歯科健診受診者数／指定した年齢の人口(40歳から80 歳の5歳刻みの市民)
	ゲートキーパー養成講座受講者数	279人 (令和4年度)	↑		ゲートキーパーの養成を目的とし、市が主催する講座の総参加者数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編) R12目標値	指標の説明	
地域福祉	地域福祉活動に参加している市民の割合	28.3% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、この1年間にボランティア活動などの地域での福祉活動に参加したことがありますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
	展開方向1	福祉体験学習への参加者数	34人 (令和4年度)	↑		中高生を対象とした、社会福祉施設などでのボランティア活動の体験学習への参加者数
		ココボラへの参加者数	55人 (令和4年度)	↑		高校生、大学生を中心としたジュニア奉仕団卒団生による団体への参加者数
	展開方向2	避難行動要支援者台帳の登録割合	57.2% (令和4年度)	↑		避難行動要支援者名簿に記載された者のうち、避難行動支援者への情報提供に同意した者の割合。名簿対象:要介護3~5 身障手帳1~3 療育手帳A・B 一人暮らし高齢者等。
		民生委員・児童委員の相談件数	6,159件 (令和4年度)	↑		地域で活動する民生委員・児童委員による年間の相談支援件数
		ふくし座談会への参加者数	66人 (令和4年度)	↑		地域住民のネットワークづくりや“学び”及び“気づき”の場として開催する小学校区単位のふくし座談会の参加者数
		専門職によるふれあい・いきいきサロンにおける相談巡回件数	256件 (令和4年度)	↑		地域支え合い推進員が中心となって実施するふれあい・いきいきサロンの相談巡回を行った件数
	展開方向3	お互いさまサポーター登録者数	1,312人 (令和4年度)	↑		こまき支え合いいきいきポイント制度に登録している住民(満18歳以上)の数
		相談に対して生活困窮者支援プランを作成し課題解決につながった割合	52.3% (令和4年度)	↑		自立相談支援窓口で相談を受けたもののうち、個別の支援計画の作成に至った件数
		多機関協働による相談支援件数	-	↑		多機関協働事業における相談を受けたもののうち、実際に支援を行うことになった件数
介護・高齢者福祉	介護保険第1号被保険者の要介護(要支援)認定率	14.0% (令和4年度)	計画推計値より↓		介護保険の第1号被保険者(65歳以上の被保険者)のうち、要介護(要支援)認定者の割合	
	要介護(要支援)認定者のうち在宅などで暮らしている市民の割合	79.9% (令和4年度)	↑		要介護(要支援)認定者のうち、在宅などで暮らしている市民の割合	
	展開方向1	地域密着型サービス施設の定員数	511人 (令和4年度)	↑		地域密着型サービス施設の定員数
		介護職員研修受講者数	34人 (令和4年度)	↑		市が実施する介護職員研修を受講した人数
		介護予防・日常生活支援総合事業開始とともに始まった多様なサービス(住民主体等)の利用者数	91人 (令和4年度)	↑		介護予防・日常生活支援総合事業とともに始まった多様なサービス(基準を緩和したサービス、住民主体による支援、短期集中予防サービス、移動支援)の利用者数
		ケアプラン点検の実施件数	141件 (令和4年度)	↑		点検したケアプランの件数
	展開方向2	認知症初期集中支援チームが支援した人数	13人 (令和4年度)	↑		認知症初期集中支援チームが支援した人数
		認知症カフェやチームオレンジ(認知症の人やその家族を支援する取組や団体)の数	16か所 (令和4年度)	↑		認知症カフェやチームオレンジの数
		尾張北部権利擁護支援センターへの高齢者の権利擁護に関する相談人数	98人 (令和4年度)	↑		権利擁護支援センターの相談人数のうち、65歳以上の小牧市民の実人数
	展開方向3	週1回以上こまき山体操を実施している団体数	7団体 (令和4年度)	↑		週1回以上、こまき山体操を中心とした介護予防を実践している居場所数
		こまき介護予防推進リーダーの人数	117人 (令和4年度)	↑		小牧市独自の介護予防の推進役の養成を目的としたこまき介護予防推進リーダー養成研修を修了した人の数
	展開方向4	老人福祉センターの利用者数	124,799人 (令和4年度)	↑		老人福祉センターの利用者数の合計
		シルバー人材センター会員就業率	86.3% (令和4年度)	↑		シルバー人材センター会員のうち、就業した会員数/シルバー人材センター会員数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明	
障がい者(児)福祉	障がい者を理由に差別を受けたり嫌な思いをした経験がある障がい者(児)の割合	18.1% (令和4年度)	↓		【アンケート(担当課)】「この5年間に、障がいがあるために差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか」の問いに「ある」と回答した障がい者の割合	
	福祉施設から地域へ移行した人数 (累計)	11人 (令和3年度)	↑		小牧市の支給決定者のうち、施設入所から地域へ生活の場を移した市民の数(平成24年度からの累計人数)	
	ハローワーク春日井管内における企業の障害者雇用率	2.21% (令和4年度)	↑		ハローワーク春日井管内での民間企業における障がい者の雇用率	
	展開方向1	ヘルプマークを知っている市民の割合	64.3% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、『ヘルプマーク』を知っていますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
		障がいに関する研修会への参加者数	159人 (令和4年度)	↑		市又は権利擁護支援センターが実施した障がいに関する研修や勉強会、読み書き支援基礎講座、出前講座などの参加人数
		「障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどい」への参加者数と参加ボランティア人数	193人 (令和4年度)	↑		スポーツレクリエーションのつどいに参加した障がい者(児)とその家族、ボランティアなどの人数
		市が主催又は後援する芸術作品などを発表する機会に出展した障がい者の人数	127人 (令和4年度)	↑		市が主催又は後援する芸術作品などを発表する機会に出展した障がい者の人数
	展開方向2	障害者相談支援事業相談件数	15,133件 (令和4年度)	↑		委託相談支援事業所の延べ相談件数
		尾張北部権利擁護支援センターへの障がい者の権利擁護に関する相談人数	85人 (令和4年度)	↑		権利擁護支援センターの相談人数のうち、障がいのある小牧市民の実人数
		市民後見人候補者名簿登録人数(累計)	-	↑		市民後見人養成研修を受講後、市民後見人候補者として名簿に登録されている人数の累計
	展開方向3	相談員などによるサービス利用計画の作成割合	56.4% (令和4年度)	↑		障害福祉サービス利用のうち、相談支援専門員によるサービス利用計画作成の割合
		障害者優先調達推進法に基づく市の物品などの調達実績額	19,966,531円 (令和4年度)	↑		障害者優先調達法に基づき市が発注した物品及び役務の調達実績額
		市の意思疎通支援事業を利用した実人数	13人 (令和4年度)	↑		市が手話通訳や要約筆記などの意思疎通者を派遣した実人数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明	
医療保険・地域医療	往診や訪問診療を行う医療機関数	81か所 (令和3年度)	↑		往診や訪問診療を行う市内医療機関などの数(医科・歯科・薬科)	
	市内の医療機関が看取りを行った人数	365人 (令和3年度)	↑		市内の医療機関が看取りを行った実人数	
	展開方向1	国民健康保険税現年収納率	94.4% (令和3年度)	↑		国民健康保険税の調定額に占める収入額の割合
		特定健診受診率	40.5% (令和3年度)	↑		国民健康保険特定健診対象者に占める健診受診者の割合
		国民健康保険1人当たり保険給付費	288,810円 (令和3年度)	↓		国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費
	展開方向2	多職種による研修会やカンファレンスの参加者数	484人 (令和4年度)	↑		専門職等を対象とした多職種連携研修会及び医療・介護勉強会などの参加者数の合計
		電子連絡帳への登録患者数	303人 (令和4年度)	↑		多職種の専門職等が電子連絡帳の『患者支援』機能を用いて支援を継続している市民の実人数
		在宅医療やACPIに関する講演会・出前講座の参加者数	77人 (令和4年度)	↑		市民を対象とした講演会及び出前講座等の参加者数の合計
	展開方向3	救急搬送患者の応需率	90.6% (令和4年度)	↑		救急車の受入れ要請に対して、受け入れた割合
		市民病院が提供する地域医療ネットワークシステムの登録医療機関数	71か所 (令和4年度)	↑		地域医療ネットワークシステムの利用登録を行った医療機関の数
		経常収支比率(病院事業)	91.8% (令和元年度)	100%以上		経常収益/経常費用
	展開方向4	休日急病診療所受診者のうち適正受診者割合	71.7% (令和4年度)	↑		急病患者数/総患者数(急病患者数とは、医師が緊急度から受診すべき病状と判断した患者の人数)
		休日に急病で医療機関を受診できずに困ったことがある市民の割合	10.4% (令和3年度)	↓		【アンケート(市民)】「あなたは、休日に急病で医療機関を受診できずに困ったことがありますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編) R12目標値)	指標の説明
学校教育	学校が楽しいと思うこどもの割合	91.0% (令和4年度)	↑		【アンケート(担当課)】「あなたは学校が楽しいですか?」という問いに、「楽しい」、「どちらかといえば楽しい」と回答したこどもの割合
	不登校児童生徒数	631人 (令和4年度)	↓		病気、経済的な理由などを除く、年間30日以上欠席をした児童生徒数
	児童生徒の登下校中の交通事故件数	6件 (令和4年度)	↓		教育委員会に報告のあった登下校時における交通事故件数
展開方向1	自分の考えを伝えようとしている児童生徒の割合	-	↑		【アンケート(担当課)】「自分の考えを伝えようとしていますか?」という問いに、「している」と回答した児童生徒の割合
	授業において友達のことを聴こうとしている児童生徒の割合	-	↑		【アンケート(担当課)】「授業において友達のことを聴こうとしていますか?」という問いに、「している」と回答した児童生徒の割合
	夏季教職員研修で「大変になった」と答えた教職員の割合	66.8% (令和4年度)	↑		【アンケート(担当課)】「夏季教職員研修で「大変になった」と回答した教職員の割合
	ゲストティーチャーによる活動回数	183回 (令和4年度)	↑		特色ある学校づくり事業で、小中学校において、地域の住民など教員以外の方を招いて実施した授業や行事の回数
	勤務時間外の在校時間が月80時間を超過している教職員の割合	10.2% (令和4年度)	↓		勤務時間外の在校時間の調査において月80時間を超過した教職員の割合(6月調査)
展開方向2	スクールソーシャルワーカーの支援により、状況が改善した件数	170件 (令和4年度)	↑		スクールソーシャルワーカーの支援により、状況が改善した児童生徒数
	いじめの解消率(小学校)	67.8% (令和4年度)	↑		いじめを認知した児童に対して、いじめが止んでいる状態が、少なくとも3か月以上継続している等を勘案し、解消したと判断した件数の割合
	いじめの解消率(中学校)	52.5% (令和4年度)	↑		いじめを認知した生徒に対して、いじめが止んでいる状態が、少なくとも3か月以上継続している等を勘案し、解消したと判断した件数の割合
	不登校児童生徒のうち、登校できるようになった者及び良い変化があった者の割合	25.5% (令和4年度)	↑		不登校者のうち、登校できるようになった者及び良い変化がみられるようになった者の割合
	語学相談員1人当たりの児童生徒数	46.9人 (令和4年度)	↓		日本語指導が必要な児童生徒数/語学相談員数
展開方向3	残食率	9.3% (令和4年度)	↓		主食、副食及び牛乳についての小・中学校1人当たり残食率
	食育の一環として学校給食に地元食材を使用した回数	221回 (令和4年度)	↑		地産地消として地元産食材を学校給食に使用した各センターでの延べ回数の合計
	学校で行った食育の回数	94回 (令和4年度)	↑		各センター栄養士が学校で食育を行った回数
	食物アレルギーによる事故件数	2件 (令和4年度)	↓		学校給食に伴いエピペン使用あるいは病院搬送したアレルギー事故件数
展開方向4	ICTを効果的に活用して授業をしている教員の割合	80.0% (令和4年度)	↑		【アンケート(担当課)】「学校における教育の情報化の実態に関する調査」の教員のICT活用指導力等の実態のうち、「授業にICTを活用して指導する能力」の質問に「できる」、「ややできる」と回答した教員の割合
	1日1回以上タブレットを活用しているクラスの割合	60.4% (令和4年度)	↑		【アンケート(担当課)】タブレットの活用頻度について、「1日1回以上」と回答した教員の割合
	学習者用デジタル教科書を活用している児童生徒の割合	-	↑		【アンケート(担当課)】「今年度、学習者用デジタル教科書(英語)を使用しましたか?」という問いに、「はい」と回答した教員の割合
展開方向5	施設維持管理上の不備による児童生徒の事故件数	0件 (令和4年度)	→		教育委員会に報告のあった施設維持管理上の不備による児童生徒の事故件数
	トイレの洋式化率	76.8% (令和4年度)	↑		小中学校内のトイレに占める洋式トイレの割合
	通学路の安全対策実施件数	10件 (令和4年度)	↑		通学路交通安全プログラムに基づく通学路点検において、危険・要注意箇所とされた箇所への安全対策実施件数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編はR8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明
出会い・結婚・子育て支援	婚姻率(人口千人当たりの婚姻件数)	4.1 (令和3年)	↑		愛知県の人口動態統計(確定数) 婚姻数/人口×1,000
	合計特殊出生率	1.17 (令和3年)	↑		1人の女性が一生に生むこどもの平均数
	児童館利用者数	543,459人 (令和4年度)	↑		市内の児童館利用者数
展開方向1	結婚支援事業への参加者数	-	↑		結婚を希望する方へ向けた市主催の結婚支援事業(出会いの機会づくりを目的としたイベント、結婚に対する悩みなどが相談できる相談会、ライブプランセミナー等)への参加者数の合計
	結婚新生活支援補助金の交付件数	-	↑		結婚にかかる経済的支援となる結婚新生活支援補助金の交付件数
展開方向2	妊娠11週以内の届出率	95.1% (令和4年度)	↑		全妊娠届出者数のうち、妊娠11週以内に妊娠届出した妊婦の割合
	産後ケア事業の利用者数(延べ日数)	249日 (令和4年度)	↑		子育て世代包括支援センターで実施している、産後ケア事業を利用した延べ日数
	1歳育児相談事業(アニバーサリー事業)の実施率	80.4% (令和4年度)	↑		子育て世代包括支援センターで実施している、1歳育児相談事業(アニバーサリー事業)の全対象者のうち、来所した親子の割合
展開方向3	一時預かり利用者数	1,324人 (令和4年度)	↑		子育て世代包括支援センターで実施している、一時預かり事業を利用したこどもの延べ人数
	児童虐待の解消率	92.9% (令和4年度)	↑		要保護児童対策地域協議会で児童虐待として検討した実人数のうち、終結となった実人数の割合
	放課後児童クラブの待機児童数	0人 (令和4年度)	→		放課後児童クラブの利用要件を満たし利用を希望したが、各々のクラブの定員を上回ったことにより利用ができない児童の数
	放課後子ども総合プラン実施回数	32回 (令和4年度)	↑		小学校ごとに実施する放課後子ども教室と児童クラブにおける合同の体験活動の回数
	ひとり親家庭のうち市の入学支援金により大学などに進学した割合	18.4% (令和4年度)	↑		小牧市遺児手当受給世帯の18歳の児童のうち、入学支援金により大学等に進学した児童の割合
展開方向4	中高生利用者数(市内の8児童館)	37,055人 (令和4年度)	↑		市内の児童館を利用した中高生の数
	市の支援策を活用している子ども会の割合	73.6% (令和4年度)	↑		市の支援策を活用している子ども会の割合
展開方向5	地域の大人とあいさつをしている中学生の割合	90.7% (令和4年度)	↑		【アンケート(担当課)】「少年の生活意識と行動」の実態調査の中で、地域の大人とあいさつをしている中学生の割合
	地域活動に参加している児童生徒の割合	36.5% (令和4年度)	↑		【アンケート(担当課)】「少年の生活意識と行動」の実態調査の中で、地域で行われる行事にお手伝いやボランティアとして協力している児童生徒の割合
	学校外活動(ジュニアセミナー、自然体験活動)、放課後子ども教室への参加者数	826人 (令和4年度)	↑		ジュニアセミナー、自然体験活動、放課後子ども教室へ申込みをし、参加が決定した人数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編) R12目標値	指標の説明	
幼児教育・保育	希望する幼児教育・保育サービスを受けることができる保護者の割合	-	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、希望する幼児教育・保育サービスを受けることができていると感じますか？」という問いに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	
	展開方向1	待機児童数	0人 (令和4年4月1日時点)	→		保育園、認定こども園、小規模保育事業所の入園資格があり希望したが、入園できない児童の数(保護者の私的な理由により特定の保育所等のみを希望している場合などを除く。)
		延長保育を行っている保育所等の施設数	23施設 (令和4年度)	↑		保育標準時間(7:30~18:30)を超えて保育を実施している保育所等の数
	展開方向2	公立保育園の保育士に占める正規職員(保育士)の割合	49.0% (令和4年度)	↑		公立保育園に勤務する保育士に占める正規職員の割合
		研修参加者数	1,149人 (令和4年度)	↑		保育の質の向上のための各種研修の参加者の延べ人数
展開方向3	築30年以上となる市が所有する公立保育園の割合	72.7% (令和4年度)	↓		築30年以上となる市が所有する公立保育園等の園舎の割合	
スポーツ	健康づくりのためにスポーツに取り組む必要があると考えている成人市民の割合	86.7% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、健康づくりのために、日常生活の中でスポーツ(ウォーキングや体操を始めとする運動)に取り組む必要があると考えていますか？」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
	展開方向1	スポーツ教室などへの参加者数	2,838人 (令和4年度)	↑		市及び(公財)小牧市スポーツ協会が行う各教室の参加者数
		スポーツ指導者登録者数	278人 (令和4年度)	↑		小牧市公認スポーツ指導員登録者数、ジュニア指導者登録者数、小牧市スポーツ推進委員人数、部活動民間指導者数
		令和8(2026)年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っている市民の割合	16.4% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、2026年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っていますか？」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
	展開方向2	市が管理するスポーツ施設における維持管理上の不備による事故件数	0件 (令和4年度)	→		市が管理するスポーツ施設における維持管理上の不備による事故件数
市が管理するスポーツ施設の年間利用者数		469,015人 (令和4年度)	↑		パークアリーナ小牧、南スポーツセンター、さかき運動場、総合運動場、大輪体育館の各利用人数	
文化・芸術	日頃から文化・芸術に親しんでいる市民の割合	51.8% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、日頃から文化・芸術に親しんでいますか？」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
	展開方向1	市民会館での公演などへの参加者数	31,711人 (令和4年度)	↑		市民会館ホールで行う市民の発表会など文化事業の参加者数
		(一財)こまき市民文化財団などが主催するイベントへの来場者数	30,029人 (令和4年度)	↑		(一財)こまき市民文化財団が実施した文化イベントへの来場者数
		子ども又は親子で参加する文化体験教室などへの参加者数	1,006人 (令和4年度)	↑		(一財)こまき市民文化財団が実施する文化体験教室及びアウトリーチ事業等の参加者数
	展開方向2	小牧市内を活動拠点とする文化・芸術団体数	273団体 (令和4年度)	↑		こまき団体情報ガイドブックに登録されている文化、芸術の団体数
支援を行った文化団体が実施する事業への参加者数		45,511人 (令和4年度)	↑		(一財)こまき市民文化財団が支援を行った事業等への参加者数	

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明	
生涯学習	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	28.2% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、この1年間に生涯学習に関する活動を行いましたか？」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
	展開方向1	市民講座受講者数	1,629人 (令和4年度)	↑		市公民館、3市民センターでの市民講座の受講者数
		生涯学習の支援や指導に関わった市民の割合	5.6% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、この1年間に生涯学習に関する支援や指導に関わったことがありますか？」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
		生涯学習に関する相談件数	257件 (令和4年度)	↑		こまなびサロン、3市民センターの合計
	展開方向2	公民館利用率	38.5% (令和4年度)	↑		年間利用枠数/最大利用可能枠数
	展開方向3	貸出利用者数	325,559人 (令和4年度)	↑		図書・視聴覚資料を利用した市民の延べ人数
		貸出点数	1,276,182点 (令和4年度)	↑		図書・視聴覚資料の館外貸出点数
		レファレンス処理件数	14,474件 (令和4年度)	↑		図書室を含む全施設分
	男女共同参画	働いている女性(20~50歳代)の割合	74.0% (令和3年度)	↑		20~50歳代の女性のうち、働いている人の割合
固定的な性別役割分担について見直すべきと思う男性の割合		80.2% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、『男は仕事、女は家庭』といった固定的な性別役割分担について見直すべきだと思いますか？」という問いに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した男性の割合	
展開方向1		審議会などへの女性委員の登用率	24.7% (令和4年度)	↑		市の審議会委員への女性登用割合
		あいち女性輝きカンパニーの認証数	73件 (令和4年度)	↑		市内のあいち女性輝きカンパニーの認証数
展開方向2		男女共同参画に関する講座の受講後アンケートで「男女共同参画について理解が深まった」と回答した受講者の割合	-	↑		男女共同参画に関する講座の受講後アンケートで「男女共同参画について理解が深まった」と回答した受講者の割合
		男女共同参画に関する講座を受講した中学生のうち、受講後に男女共同参画に関する意識が変わった生徒の割合	-	↑		男女共同参画に関する講座を受講した中学生のうち、受講後に男女共同参画に関する意識が変わった生徒の割合
多文化共生	小牧市多文化共生推進プランの達成率	64.9% (令和4年度)	↑		「小牧市多文化共生推進プラン(第2次プラン)」中、「挑戦すること」を達成した割合	
	外国人市民との共生(仲良く暮らしていく)が必要と感じる市民の割合	-	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、外国人市民と仲良く暮らしていくことが必要と感じますか？」という問いに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	
	外国人市民の登録者数	10,424人 (令和5年4月現在)	-		「人口世帯表」中、外国人住民数の合計	
	展開方向1	外国人市民向けホームページ等の年間アクセス数	7,267件 (令和4年度)	↑		外国人市民向けに作成したページ(Life Informationのページ)の年間アクセス数
		外国人相談件数	12,840件 (令和4年度)	↑		多文化共生推進室に設置している「外国人相談窓口」における相談件数
		小牧市国際交流協会が実施する大人向け日本語教室の年間受講者数	301人 (令和4年度)	↑		小牧市国際交流協会が大人向けに実施している日本語教室の年間受講者数
	展開方向2	市や小牧市国際交流協会が実施する日本人市民と外国人市民が交流する事業などへの参加者数	1,281人 (令和4年度)	↑		市及び小牧市国際交流協会の主催又は共催により実施する、国際交流や多文化共生に関する事業の参加者数
		災害時外国人支援ボランティアの登録者数	62人 (令和4年度)	↑		小牧市災害時外国人支援ボランティアの年度末現在の登録者数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編) R12目標値	指標の説明	
シティプロモーション	交流人口	1,016,317人 (令和4年度)	↑		小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館(れきしるこまき)、メナード美術館、パークアリーナ小牧、田縣神社、市民四季の森、小牧山さくらまつり、小牧市民まつり、こまき令和夏まつり、小牧産業フェスタ、こまき信長夢夜会、いきいきこまき、小牧にぎわいフェスティバルの来場者数	
	小牧市のイベント、施設に関する検索数	-	↑		小牧山さくらまつり、こまき令和夏まつり、こまき信長夢夜会、小牧市民まつり、こまきこども未来館、小牧市中央図書館、パークアリーナ小牧、市民四季の森、小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館(れきしるこまき)の検索数	
	展開方向1	ブランドロゴマークを知っている市民の割合	72.8% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、このブランドロゴマークを知っていますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
		市公式LINEの友だち数	61,391人 (令和4年度)	↑		小牧市公式LINEに登録された友だち数
	展開方向2	人に紹介したくなる観光資源があると答えた市民の割合	38.4% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、人に紹介したくなる小牧の観光スポットや食文化がありますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
	展開方向3	小牧市民まつり、こまき令和夏まつり、こまき信長夢夜会に来場又は参加した市民の割合	35.7% (令和元年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、昨年、小牧市民まつり、こまき令和夏まつり、こまき信長夢夜会に来場、または参加しましたか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
		来年以降も市民まつりに来たいと答えた市民の割合	33.7% (令和3年度)	↑		【アンケート(担当課)】小牧市民まつりの会場におけるアンケートで、「来年以降も市民まつりに来たいと思いますか?」という問いに、「ぜったい来たい」、「来たい」と回答した市民の割合
こまき令和夏まつりに来場した10歳代・20歳代の割合		37.9% (令和元年度)	↑		【アンケート(担当課)】こまき令和夏まつりの会場におけるアンケートに回答した10歳代・20歳代の割合	
農業	耕作放棄地の面積	65ha (令和4年度)	↓		耕作放棄地の面積	
	鳥獣による農作物被害額	1,925千円 (令和3年度)	↓		鳥獣による農作物被害状況アンケートの合計金額	
	農家1戸当たりの生産農業販売実績額	177千円 (令和3年度)	↑		JA販売事業の取扱高÷正組合員数	
	展開方向1	農業体験事業への参加者数	20人 (令和4年度)	↑		小牧市農業体験講座受講者数
		認定新規就農者数	4人 (令和4年度)	↑		青年等就農計画が市に認定された者の合計
		認定農業者数	25人 (令和4年度)	↑		農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の認定を受けた農業経営者数
	展開方向2	農業の担い手へ集積した農地面積	75.8ha (令和4年度)	↑		農業の担い手等に利用権設定(農地の貸出)されている農地面積
		農地中間管理機構を活用した貸付面積	20.2ha (令和4年度)	↑		農地中間管理機構を活用して農業の担い手等に貸出しされた農地面積
	展開方向3	市民菜園の利用者数	175人 (令和4年度)	↑		藤島市民菜園と池之内市民菜園の利用者合計
	展開方向4	新木津用水路改修工事の進捗率	54.5% (令和4年度)	↑		小牧市内の改修済延長÷小牧市内の計画延長
		小木排水機場改築事業の進捗率	20.1% (令和4年度)	↑		当該年度までの出来高÷全体事業費

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編) R12目標値)	指標の説明	
商工業	市内総生産額	1,039,563百万円 (令和2年度)	↑		あいちの市町村民所得	
	製造品出荷額等	1,316,660百万円 (令和2年)	↑		経済構造実態調査及び経済センサス活動調査	
	展開方向1	市内事業者に対する各種補助件数(累計)	718件 (令和4年度)	↑		中小企業の事業資金調達に係る利子等の諸費用や福利厚生など中小企業の持続的な発展を促す基盤整備に関する補助件数の累計
		事業のデジタル化、省エネルギーの取組に対する補助件数	23件 (令和4年度)	↑		中小企業のデジタル化・DX(デジタルトランスフォーメーション)や低炭素・脱炭素化に取り組む事業者への支援に関する補助件数
		こまき新産業振興センターにおける支援企業数	44件 (令和4年度)	↑		こまき新産業振興センターが支援活動を実施した企業の数
		事業承継相談窓口の相談件数	-	↑		月に1度、愛知県事業承継・引継ぎ支援センターが小牧市役所にて実施している事業承継相談会の相談件数
	展開方向2	市の補助制度を活用して進出した企業数(累計)	16件 (令和4年度)	↑		補助制度を活用して新たに市内に立地した企業(製造業)数の累計
		新たな立地許可基準(都市計画法第34条第12号の規定に基づく条例)を活用した立地件数(累計)	7件 (令和4年度)	↑		都市計画法第34条第12号の規定に基づく条例を活用して立地した企業数の累計
		次世代産業人材の育成・確保の取組のため市の補助制度が活用された件数(累計)	8件 (令和4年度)	↑		次世代産業人材の育成・確保に関する補助制度の活用件数の累計
		次世代産業への参入に向けた販路開拓の取組のため市の補助制度が活用された件数(累計)	-	↑		次世代産業の販路開拓に関する補助制度の活用件数のうち、次世代産業新規参入及び次世代産業他分野参入に係る活用件数の累計
	展開方向3	セミナー参加者の起業・創業者数(累計)	31人 (令和4年度)	↑		創業支援セミナー参加者を対象にしたアンケート調査において、「創業を開始した」と回答した人数の累計
		起業・創業者に対する補助件数(累計)	76件 (令和4年度)	↑		小牧市での会社設立や創業支援に関する補助件数の累計
		市内事業者の新たな取組や販路開拓に対する補助件数(累計)	65件 (令和4年度)	↑		中小企業の新たな販路開拓や新事業展開、企業の付加価値向上に向けた取組支援に関する補助件数の累計
	展開方向4	就職フェアにおける1出展事業者当たりの来場者の人数	1.03人 (令和4年度)	↑		就職フェアにおける1出展事業者当たりの来場者の人数(=来場者数/出展事業者数)
		小牧市就労支援センターにおける新規相談者数に対する就職した人の割合	28.5% (令和4年度)	↑		小牧市就労支援センターにおける新規相談者数に対する就職した人の割合(=就職件数/新規相談件数)
		人材確保・育成に対する補助件数	20件 (令和4年度)	↑		中小企業の人材確保や人材育成の取組支援に関する補助件数
歴史・文化財	小牧の歴史や伝統文化に興味・関心を持っている市民の割合	61.0% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、小牧市(またはお住まいの地域)の歴史や伝統文化(小牧山城などの文化財、まつり、民俗芸能など)に興味・関心がありますか?」という問いに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	
	展開方向1	小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館、小牧市創垂館の入場者数	80,629人 (令和4年度)	↑	小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館、小牧市創垂館の入館者数	
	展開方向2	指定文化財の件数	44件 (令和4年度)	↑		国・県・市指定文化財の件数
		講座や展示、ワークショップ等への参加者数	37,137人 (令和4年度)	↑		歴史や文化財に関する講座や展示、ワークショップ等への参加者数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明	
市街地整備	居住誘導区域内居住率	71.5% (令和4年度)	↑		「小牧市立地適正化計画(平成29年3月策定)」で定める居住誘導区域内の人口が市全体の人口に占める割合(毎年10月1日現在を基本とする。)	
	居住誘導区域内人口密度	53.9人/ha (令和4年度)	↑		「小牧市立地適正化計画(平成29年3月策定)」で定める居住誘導区域における1ヘクタール当たりの人口	
	都市機能誘導区域における誘導施設立地数	44施設 (令和4年度)	↑		「小牧市立地適正化計画(平成29年3月策定)」で定める都市機能誘導区域に立地する誘導施設(同計画で規定)の数	
	東部地域の生産年齢(15歳～64歳)人口割合	58.3% (令和2年度)	→		国勢調査(R2) 東部地区の生産年齢人口数/総人口数	
	展開方向1	名鉄小牧駅の1日平均乗降者数	10,188人/日 (令和4年度)	↑		名鉄小牧駅の年間乗降者数を年間日数で割った数
		桃花台中心地区の歩行者・自転車通行量	170人/12h (令和4年度)	↑		市道桃花台鳥居松線の歩道(ピアール隣接箇所)における歩行者・自転車の通行量(平日の7時から19時まで)
	展開方向2	中心市街地の歩行者・自転車通行量	5,817人/12h (令和4年度)	↑		小牧駅西駅前広場の南側市道小牧駅前線及び北側市道西朝日1号線の東西方向における歩行者・自転車の通行量(平日の7時から19時まで)
		中心市街地の自主活動の参加者数	-	↑		中心市街地まちづくりプラットフォームを通じて自主活動に携わった市民の数
	展開方向3	土地区画整理事業の施行区域内の居住人口	9,553人 (令和4年度)	↑		土地区画整理事業の施行区域内の居住人口
		土地区画整理事業の施行区域内の道路整備率	81.6% (令和4年度)	↑		道路整備済み延長/道路計画延長
土地区画整理事業の施行区域内の建築行為申請面積		59.85ha (令和4年度)	↑		土地区画整理事業の施行区域内の新築住宅等の建築行為申請面積	
展開方向4	市ホームページ(東部まちづくりニュースのページ)の年間アクセス数	3,293件 (令和4年度)	↑		市ホームページの東部まちづくりニュース(東部まちづくり推進室が東部地域で開催されるイベント等を都度情報発信しているページ)のページ閲覧数	
	東部地域トライアル活動支援及び東部地域トライアル活動支援補助金の申請件数	6件 (令和4年度)	↑		東部地域トライアル活動支援申請件数の累計	
都市交通	公共交通機関の1日平均利用者数	39,247人/日 (令和4年度)	↑		市内公共交通機関(鉄道、民間路線バス、こまき巡回バス)の年間利用者数を年間運行日数で割った数	
	週1回以上公共交通機関を利用している市民の割合	14.5% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、週に1回以上公共交通機関(電車、バス[路線バス・巡回バス])を利用していますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
	展開方向1	こまき巡回バス「こまくる」の1日平均利用者数	2,088人/日 (令和4年度)	↑		こまき巡回バスの年間利用者数を年間運行日数で割った数
		名鉄バス間内岩倉線の1日平均利用者数	84人/日 (令和4年度)	↑		名鉄バス間内・岩倉線(国、愛知県、市の補助対象路線)の年間利用者数を年間日数で割った数
	展開方向2	過去1か月以内に公共交通機関を利用したことがある市民の割合	-	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、直近1か月以内に公共交通機関(電車、バス[路線バス・巡回バス])を利用しましたか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
		啓発活動やイベントなどの実施回数	4回 (令和4年度)	↑		市や公共交通利用促進協議会などで実施した啓発活動やイベントなどの実施回数
		バス停の待合環境整備箇所数(累計)	13か所 (令和4年度)	↑		バス停の待合環境を改善するために実施した整備工事の箇所数の累計

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編) R12目標値)	指標の説明	
道路・橋りょう	主要な渋滞発生箇所数	20か所 (令和4年度)	↓		市独自のETC2.0によるビッグデータを活用し、令和4年度に算出した渋滞量が大きい市道交差点上位15か所に、愛知県道路交通渋滞対策推進協議会にて選定した主要渋滞箇所と利用者団体要望箇所のうち、市道が関係する交差点5か所を加えた20か所を基準の渋滞箇所とし、渋滞対策実施後の検証により渋滞量が減少した交差点を減じた箇所数	
	歩行者、自転車の交通事故件数	150件 (令和4年度)	↓		市内における人対車及び自転車対車の年間人身事故件数	
	展開方向1	都市計画道路の整備率	78.1% (令和4年度)	↑		市内都市計画道路全延長に対する整備済の延長比率
		狭あい道路の整備率	0% (令和4年度)	↑		市内における幅員4.0m未満の狭あいな道路(建築基準法第42条第2項の規定により市の指定した道路)の全延長に対する整備済の延長比率
		渋滞対策の実施箇所数(累計)	5か所 (令和4年度)	↑		指標『主要な渋滞発生箇所数』のうち、市独自主要渋滞箇所における対策整備の実施箇所数の累計
	展開方向2	通学路歩道(歩車分離)整備率	50.4% (令和4年度)	↑		市内小学校の通学路全延長に対する歩車分離区間の延長比率
		自転車通行帯の整備率	0% (令和4年度)	↑		令和6年度末に策定する自転車ネットワーク計画において定められる整備延長に対する自転車通行帯整備済の延長比率
	展開方向3	重要橋りょうの長寿命化修繕工事の進捗率	46.9% (令和4年度)	↑		修繕工事が必要と診断された重要橋りょう全数に対する整備済の橋数比率
横断歩道橋修繕工事の進捗率		68.8% (令和4年度)	↑		修繕工事が必要と診断された歩道橋全数に対する整備済の橋数比率	
上下水道	基幹管路の事故割合(水道事業)	0件/100km (令和4年度)	→		基幹管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したもの	
	公共下水道普及率(下水道事業)	77.9% (令和4年度)	↑		行政区域内人口に対して、下水道が利用できる人口の割合 供用開始区域内人口/行政区域内人口	
	展開方向1	経常収支比率(水道事業)	111.9% (令和4年度)	100%以上		経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもの (営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)
		経常収支比率(下水道事業)	99.7% (令和4年度)	100%以上		経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもの (営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)
		経費回収率(下水道事業)	58.8% (令和4年度)	↑		汚水処理に要した費用が使用料によってどの程度回収されているかを示すもの 使用料収入/汚水処理費
	展開方向2	水質基準不適合率	0% (令和4年度)	→		水質基準不適合回数/全検査回数
	展開方向3	公共下水道整備進捗率	72.0% (令和4年度)	↑		行政区域(公共下水道整備)面積に対して、下水道が使用できるようになった区域の割合 供用開始面積/全体計画面積
		公共下水道接続率	72.1% (令和4年度)	↑		行政区域内人口に対して、実際に下水道を利用している人口の割合 供用開始区域内水洗化人口/行政区域内人口
	展開方向4	管路の耐震管率(水道事業)	25.1% (令和4年度)	↑		導水管・送水管・配水管の管路の延長に対する耐震管の延長の割合
		水道施設事故停止件数(水道事業)	0件 (令和4年度)	→		直近1年間に稼動している浄水場(4施設)内の施設、機器などの不具合又は維持管理状況に起因した事故、自然災害により浄水場が停止した件数
		下水道施設事故停止件数(下水道事業)	0件 (令和4年度)	→		桃花台汚水中継ポンプ場の排除機能が停止する重大な故障件数
		不明水率(下水道事業)	21.6% (令和4年度)	↓		流入下水量のうち、下水道料金等で把握することが可能な水量(有収水量)以外の下水量の割合【公共】

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編) R12目標値	指標の説明	
河川・水路	床上、床下浸水の被害戸数	3戸 (令和4年度)	↓		市内での床上・床下浸水被害の戸数	
	展開方向1	準用河川の整備率	24.7% (令和4年度)	↑	前年度までの河川整備延長/河川延長	
		雨水整備区域の整備率	9.5% (令和4年度)	↑	前年度までの都市浸水対策区域の整備面積/「新川流域水害対策計画」に基づく計画都市浸水対策区域の面積	
	展開方向2	雨水貯留施設整備の進捗率	72.2% (令和4年度)	↑	前年度までの設置雨水貯留総量/「新川流域水害対策計画」に基づく計画雨水貯留量	
公園・緑地・緑道	公園緑地の箇所数	191か所 (令和4年度)	↑		都市公園法に基づく公園及び緑地の箇所数と小牧市児童遊園設置管理に関する条例に基づく児童遊園の箇所数の合計	
	市内の公園を訪れた市民の割合	62.0% (令和3年度)	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、この1年間に市内の公園を訪れたことがありますか？」という問いに、「はい」と回答した市民の割合	
	展開方向1	市民1人当たりの都市公園面積	7.77㎡ (令和4年度)	↑		市民1人当たりの都市公園面積
		ワークショップなどを通じ、地域住民のニーズを反映させて新たに整備・改修した都市公園数	5か所 (令和4年度)	↑		整備・更新時にワークショップ等を通じて地域住民のニーズを反映させた都市公園数
		市からの働きかけにより緑化推進に取り組んだ企業数	40件 (令和4年度)	↑		小牧市緑化推進協議会の目的に賛同し入会した企業数
	展開方向2	公園管理者の過失による事故件数	1件 (令和4年度)	↓		公園管理者の過失による事故件数
		管理委託団体が管理する都市公園数	94公園 (令和4年度)	↑		地元区が日常管理を実施している都市公園数
	展開方向3	市民四季の森を訪れた人数	-	↑		市民四季の森の有料施設等の利用者数
	住宅・居住	耐震化等を要する木造住宅の戸数	2,785戸 (令和4年度)	↓		小牧市耐震改修促進計画に掲げる施策を要する木造住宅の戸数から民間木造住宅耐震改修費等補助件数を差し引いた戸数
		新築住宅のうち長期優良住宅認定住戸の割合	42.3% (令和4年度)	↑		長期優良住宅の認定を受けた住宅棟数/新築住宅棟数
管理不全空き家の棟数		27棟 (令和4年度)	↓		倒壊の可能性がある等、現況のままの利用は不可能又は困難な空き家の棟数	
20～40歳代の平均転出超過数(3か年平均)		438人 (令和4年度)	↓		20歳から40歳代の3か年の平均転出超過数	
展開方向1		民間木造住宅耐震改修費などの補助件数	34件 (令和4年度)	↑		耐震改修・除却した住宅件数
		マンション管理計画認定を受けた件数	-	↑		マンション管理計画認定を受けたマンション件数
展開方向2		福祉世帯の入居率	68.2% (令和4年度)	↑		福祉世帯(高齢者、障がい者、子育て等)の戸数/全戸数
展開方向3		空き家セミナー及び個別相談会参加者数	24人 (令和4年度)	↑		市が開催する空き家セミナー及び個別相談会への参加者数
		空き家管理業務実施件数(累計)	16件 (令和4年度)	↑		市長が認め、登録した空き家管理事業者に対し、空き家所有者が空き家の管理業務を依頼した件数の累計
		空き家等除却工事費補助金交付件数(累計)	86件 (令和4年度)	↑		老朽化した空き家又は倒壊等のおそれのある危険な空き家を除去する方に対し、その経費の一部を補助した件数の累計
		定住促進補助金(中古住宅活用タイプ)交付件数(累計)	34件 (令和4年度)	↑		本市に定住するため中古住宅を取得した若年世代に対し、その費用の一部を補助した件数の累計
展開方向4		定住促進事業による若年世代の定住者数(累計)	1,652人 (令和4年度)	↑		定住促進補助金を受け小牧市に定住した若年世代の人数の累計

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明
協働・情報共有	市内の公益的活動(ボランティア活動、市民活動、NPO活動、事業所などの地域貢献活動など)に過去1年間で1回以上参加したことがある市民の割合	-	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、この1年間に市内の公益的活動(ボランティア活動、市民活動、NPO活動、事業所などの地域貢献活動など)に参加したことがありますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
	区や、区を単位とした地域活動(地域3あい事業、子ども会、老人クラブなど)に過去1年間で1回以上参加したことがある市民の割合	-	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、この1年間に区(自治会)や、区を単位とした地域活動(地域3あい事業、子ども会、老人クラブなど)に参加したことがありますか?」という問いに、「はい」と回答した市民の割合
	市からの情報発信が充実していると感じる市民の割合	-	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、市からの情報発信が充実していると感じますか?」という問いに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合
展開方向1	こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」利用登録団体数	262団体 (令和4年度)	↑		年度末(3/31)時点のこまき市民交流テラス「ワクティブこまき」利用登録団体数
	協働による事業実施数	73事業 (令和4年度)	↑		年度単位の協働による事業実施数
展開方向2	区長を対象とした研修会などの参加者数	238人 (令和4年度)	↑		研修会などの参加者数
	自治会連絡網アプリケーションを活用する世帯数	495世帯 (令和4年度)	↑		自治会連絡網アプリケーション「結ネット」の利用世帯数
展開方向3	市ホームページへのアクセス件数	740,454件/月 (令和4年度)	↑		市公式ホームページへのアクセス数
	市政情報に関する動画の投稿数(累計)	759件 (令和4年度)	↑		YouTubeの動画投稿数の累計
	市SNSのフォロワー数	73,390人 (令和4年度)	↑		LINE、Facebook、X(旧Twitter)のフォロワー数の合計
	デジタルデバйд対策(スマホ講座、スマホ相談会等)の参加者数	189人 (令和4年度)	↑		市が企画するスマートフォン等のデジタル機器に関する個別相談会や活用講座への参加者数
	オープンデータとして公開したデータ数	-	↑		市ホームページで公開しているオープンデータの数

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明
行政サービス	マイナンバーカード保有率	66.8% (令和4年度)	↑		小牧市民のうち、マイナンバーカードを保有している人の割合
	来庁件数(呼び出しシステムによる発券数)	183,554件 (令和4年度)	↓		本庁舎1階に導入した呼び出しシステムの発券数。システムから抽出した毎月の数値の合計。
	各種証明書の交付におけるコンビニ交付の割合	20.0% (令和4年度)	↑		市が交付する住民票、印鑑証明、所得証明のうち、公用での交付を除き、コンビニで交付した証明書の割合
	指定管理者制度導入施設の利用者数	1,873,483人 (令和4年度)	↑		指定管理者制度を導入している施設の利用者数
	行政サービスに満足している市民の割合	-	↑		【アンケート(市民)】「あなたは、市の行政サービス(オンライン手続きの種類、窓口での職員対応など)に満足していますか?」という問いに、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合
展開方向1	転入予約型ワンストップ窓口の利用者数	65件 (令和4年度)	↑		転入時に主な手続きをワンストップで受けられることができるオンライン予約型窓口を利用した人の数
	こまき山コンシェルジュの回答について、市民に「役に立った」と評価された割合	-	↑		問合せに対する回答を表示した際、「お役に立ちましたか」という設問に対し、役に立ったという回答をした人の割合
	オンライン申請が可能な行政手続数	122件 (令和4年度)	↑		オンライン申請が可能な行政手続の数
	オンライン申請数	257,971件 (令和4年度)	↑		オンライン申請が可能な行政手続について、実際に申請された件数
展開方向2	協定等を締結した事業者等と連携して実施した事業数	56件 (令和4年度)	↑		包括連携協定を締結した事業者と連携して実施した事業数
	指定管理者制度導入・民間移管を新たに実施した施設数(累計)	0件 (令和4年度)	↑		新規に指定管理者制度又は民間移管を実施した件数の累計
	「課題提案型実証事業」に基づいて実証した事業数(累計)	2件 (令和4年度)	↑		課題提案型実証事業に基づいて実施した事業数の累計

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明	
行政運営	人件費比率(普通会計ベース)	15.3% (令和3年度)	↓		歳出に占める人件費の割合	
	類似団体における職員数の順位	3/17団体 (令和4年度)	↑		人口と産業構造(産業別就業人口の構成比)から類似する市区町村をグループに分け、そのグループ内での人口1万人当たりの職員数の順位(少ないほど上位)	
	自治体経営に係る展開方向の進捗状況を測定するための指標の改善数	-	↑		自治体経営編の各展開方向に設定している指標の改善された数	
	展開方向1	新規採用職員の充足率	91.9% (令和4年度)	↑		採用内定者数を採用計画人数で除したもの。(医療職、医療事務職を除く。)
		行動指針に基づいた行動ができている職員の割合	-	↑		職員の自己評価により、行動指針に基づいた行動ができていると回答した職員の割合
		自己啓発に取り組んだ職員数	146人 (令和4年度)	↑		業務時間外に自主的に自主研修講座(研修開催、資格取得)、通信教育などの研修に取り組んだ職員数
		年次有給休暇の取得率(行政職)	58.5% (令和4年度)	↑		職員の年次有給休暇取得日数を年間有給休暇付与日数20日で除したもの。
		組織横断的なプロジェクトチームの設置数	6件 (令和4年度)	↑		設置要綱に基づき設置したプロジェクトチームの数
	展開方向2	内部統制制度において識別した不備の件数	15件 (令和4年度)	↓		内部統制の整備状況や運用状況の評価により把握した不備の件数
		ハラスメントを受けたと感じた時にどこにも相談しなかった職員の数	30件 (令和4年度)	↓		ハラスメントに関する職員アンケートを実施し、ハラスメントを受けたと感じたと回答した職員のうち、何もなかったと回答した職員の数
	展開方向3	行政評価による削減額(累計)	49,972千円 (令和4年度)	↑		行政評価(施策評価、事務事業評価)により事業の見直しを行った結果、捻出された事業費の組替額の累計
		デジタルの活用に関する研修受講者数	190人 (令和4年度)	↑		行政改革課主催の情報セキュリティ研修等の受講者数
	展開方向4	業務プロセスの見直しや業務改善を実施した事業数	260件 (令和4年度)	↑		「改善報告制度」での報告数
		文書電子処理率(電子による起案・供覧の処理率)	71.3% (令和4年度)	↑		文書管理システムによる文書処理のうち、電子による起案・供覧件数を全体の起案・供覧件数で除したもの。
		フリーアドレスの導入部署数(累計)	0課室 (令和4年度)	↑		フリーアドレスを導入している部署数の累計

「指標一覧」

基本施策名	指標名	基準値 (単位も記入)	目指す方向 (戦略編は R8目標値)	(戦略編: R12目標値)	指標の説明	
財政運営	経常収支比率(参考:類似団体順位*)	88.7% (27/37団体*) (令和3年度)	→(↑)		人件費、扶助費、公債費など経常的に支出する経費に充当した地方税や地方譲与税など一般財源を経常一般財源で除したものの。財政構造の弾力性を示す。毎年度7月頃に決算統計を作成する際に算定。団体順位は決算翌年度の12月頃に㈱日本経済新聞社が発行している全国都市財政年報により確認。	
	財政力指数(参考:類似団体順位*)	1.22 (4/37団体*) (令和3年度)	→(↑)		地方公共団体が標準的な行政活動を行うのに必要な財政需要に対する税收等の割合(3ヶ年平均)。この指標が「1」を超えるほど財政力が強く、財源に余裕があるとされている。また、「1」を超えた団体は、普通交付税の不交付団体となる。団体順位は決算翌年度の12月頃に㈱日本経済新聞社が発行している全国都市財政年報により確認。	
	有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率)	52.8% (令和3年度)	↓		有形固定資産のうち、償却資産の取得価額等に対する減価償却累計額の割合。決算翌年度の年度末に公会計の財務4表を作成する際に算定。この指数が高い場合は、施設が全体として老朽化しつつあることを示す。	
	展開方向1	こまき応援寄附金の寄附額	1,325,815千円 (令和4年度)	↑		ふるさと納税制度を活用して、寄附者が活用先を選択し、小牧市へ寄附した額
		市税収納率	96.7% (令和3年度)	↑		現年度・過年度収入済額/課税分調定額
	展開方向2	前年度当初予算と比べた経常事業経費の削減額(累計)	138,693千円 (令和4年度)	↑		前年度当初予算と比べた経常事業経費の削減額の累計
	展開方向3	実質公債費比率	0.8% (令和3年度)	2.5%以内		市税などの毎年経常的に収入される財源に占める償還に要する費用(特別会計や企業会計などへの繰出金のうち、償還に要する費用に充てられるものも含む)の割合。毎年度7月頃に算定している健全化判断比率の1つ。
	展開方向4	保全計画に基づいて実施した施設の修繕・改修件数(累計)	8件 (令和4年度)	↑		保全計画に基づき実施した修繕、改修件数の累計